

カリウム試験紙 (MN90727)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過により変化する場合があります。

《使用法》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、直ちに容器の蓋を閉めます。
2. 中性に調整したサンプル溶液を試験紙に1滴滴下した後、試験紙を6%の希硝酸に浸します。
3. 希硝酸に浸すことで試験紙は赤橙色から黄白色に変色しますが、カリウムイオン(K⁺)の存在で溶液を滴下した箇所は赤橙色のまま変色せずにスポットとして残ります。

※検出限界：250mg/LのK⁺

《妨害》

- ルビジウム、セシウム、タリウムが存在する場合、同様に赤橙色のスポットが現れます。
- ナトリウムイオン(Na⁺)や重金属イオンが多量に存在する場合、試験紙の感度が低下します。
- アンモニウムイオン(NH₄⁺)が多量に存在する場合、変色を妨害します。

<上記イオンの妨害はそれぞれ以下の手順で除去できます>

- ・重金属イオン：溶液に微粉末の酸化マグネシウムを加え、5分間加熱し水酸化物を沈殿させ濾過します。
- ・ナトリウムイオン：中性もしくは酢酸溶液に酢酸ウラニルを加え、沈殿させ濾過します。
- ・アンモニウムイオン：溶液を蒸発させた後、残渣を濃塩酸1mLと濃硝酸5mLの混合液に溶かします。そして混合液を再蒸発させて乾燥させます。乾燥させた残渣を蒸留水に溶かします。

各妨害に対し除去処理を行った後再測定を行います。

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。